

## 日本気象学会誌 気象集誌

## 第II輯 第75巻 第2号 1997年4月

大内和良・山岬正紀：地表摩擦が重要なケルビン波の CISK ——スーパークラスターのメカニズム——Part I：線形論 .....	497-511
桑形恒男：中部日本域における夏季の短時間降雨に関する解析 およびその熱的局地循環との関連性 .....	513-527
高橋正明・趙 南・熊倉俊郎：準2年振動を再現した大循環モデルにおける 赤道波について .....	529-540
柴田清孝：成層圏バックグラウンド硫酸エアロゾル増加が 成層圏温度に及ぼす影響について .....	541-555
山根省三・余田成男：簡単な非線型系における予測可能性の変動と準定常状態 .....	557-568
柴垣佳明・山中大学・橋口浩之・渡辺 明・上田 博・前川泰之・深尾昌一郎： MU・気象レーダーで観測した梅雨季低気圧近傍の鉛直流および降水雲の階層構造 .....	569-596
青梨和正・隈 健一・松下康広：Economical Prognostic Arakawa-Schubert スキムについての物理的初期値化手法 .....	597-618
耿 驃・藤吉康志・武田喬男：近接した雷雲内の中層渦によって強化された中層の rear inflow に伴うマルチセル型雷雲の発達過程 .....	619-637
学会誌「天気」の論文・解説リスト（1977年1月号・2月号） .....	639

**編集後記：**編集者は、担当する文章の最初の読者です。出版された本の「あとがき」等を読みますと、しばしば、その本の担当編集者への謝辞が述べられています。異なった本であっても、同じ担当編集者の名前を目にすることがあり、著者ばかりでなく、編集者に波長の一致を感じることがあります。よき編集者の手になった本は内容がしっかりしています。最初の読者として良きコメントを編集者が著者に与えたことが推測されます。

そういうことを日頃感じておりますので、私が担当

する「天気」の記事の場合にも、最初の読者という意識を持って原稿にコメントをし、著者に修正していただいています。内容は独創的ではあるけれども荒削りな表現で書かれている原稿にコメントをして、著者に改訂してもらった文章が見違えるようになるのを見るのは、編集者冥利に尽きます。もちろん、一字一句も直す必要のない気持ちのいい原稿に出会うこともあります。このように、「天気」編集委員一同、最初の読者として原稿の修正をお願いしておりますので、著者の方々よろしく願いたします。（神沢 博）